

小山市教育委員会会議録
(平成28年6月定例会)

・会議の日時及び場所

日時 平成28年6月28日(火)午後2時00分

場所 小山市立中央公民館 試写室

・会議の組織人員

人数 6人

・出席委員

1 番	福 井 崇 昌
2 番	神 山 宜 久
3 番	福 地 尚 美
4 番	新 井 泉
5 番	結 城 美 鶴
6 番	酒 井 一 行

・説明のため本会議に出席した職員

教 育 部 長	田 口 正 剛
教育総務課長	添 野 雅 夫
学校教育課長	池 澤 満
生涯学習課長	細 井 典 子
生涯スポーツ課長	初 澤 正 実
中央図書館長	栗 原 要 子
車屋美術館副館長	鈴 木 一 男
博 物 館 長	森 谷 昌 敏

・書記

教育総務課課長補佐兼総務政策係長 森 川 忠 洋

・議題

報告事項

1 教育総務課

- ・寄付受入れについて
- ・平成28年度 広島平和記念式典中学生派遣事業について
- ・平成28年度小山市中学生ケアンズ派遣事業について

2 学校教育課

- ・小山市教育支援委員会への諮問について

3 生涯学習課

- ・第38回人権講演会の開催について

4 生涯スポーツ課

- ・『第10回 平成28年度小山市ラジオ体操会』の開催について
- ・平成28年度大会結果速報について

5 中央図書館

- ・「平成28年度「子どもと本をつなぐ講座」の実施について

6 博物館

- ・小山市立博物館特別展「昆虫」の開催について

7 車屋美術館

- ・第36回企画展「生誕100年 木村辰彦展」開催について

審議事項

1 教育総務課

- ・小山市小中一貫校推進委員会委員の委嘱について ※可決

2 生涯学習課

- ・小山市社会教育委員（補欠委員）の委嘱について ※可決
- ・第13期小山市生涯学習推進協議会委員（補欠委員）の委嘱について ※可決
- ・小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会の委嘱について ※可決

3 中央図書館

- ・小山市立図書館協議会委員の委嘱について ※可決

協議事項

生涯学習課

- ・青少年相談室（面接相談）について

・議事内容

○添野教育総務課長

新井委員が30分ほど、遅れるというご連絡がありました。6月の定例教育委員会を始めるにあたり、会議録署名員につきましては、順で神山委員ということで、それでよろしくお願ひできますでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、ただいまより66月の定例教育委員会を開会いたします。

報告事項に入ります。

私からは、先日のいじめ防止市民会議がありまして、6月20日オブザーバーという形で参加させていただきました。各団体の代表の方、いじめ防止に真剣に取り組んでくださっているなということで、講師の先生も宇都宮の大学の先生、交代いたしましたけれども、非常にわかりやすい話でありました。また、新しいいじめ防止の視点が開けてくるのかなという感想があります。

私からの報告事項はそんなところであります。

教育長からお願いいたします。

○酒井教育長

全国、関東地区関係でありますけれども、5月18、19、20日、徳島で全国都市教育長協議会総会がございました。18日は役員会、19日が総会、文部科学省説明などがございました。文部科学省からは、「チーム学校」、地域とともにある学校づくり、さらには教職員の資質向上、つまり馳プランと言われている3点を中心に説明がございました。午後、研究部会がありまして、私が司会を担当させていただきました。学校教育部会の中では、グロー

バル教育の充実あるいは学校の教育力向上を図る「チーム学校」への取り組みなどについて意見交換をさせていただきました。

最終日20日は、分野別研究発表ということで、佐賀県神埼市から、不易と流行の強化充実による学校教育の推進、上越市からはコミュニティースクールを基盤に社会全体で推進する学校教育のあり方、枚方市から、子育て、教育、生きがいを支援する役に立つ図書館運営などについて発表がございました。

5月23日、県教育委員会連合会総会がございまして、事務局が鹿沼市で、総会、予算、決算等、行事等、その後県への要望事項等について確認をさせていただきました。

5月27日、委員の皆様方と一緒に八王子、関東甲信越静教育委員会連合会の総会へ出席してまいりました。

それから、地区内の教育長部会でありますけれども、5月の17日、人事異動の反省とこれからの行事等の確認、さらには教職員評価制度が若干変わりましたので、その辺の説明を受けてのいろいろな意見交換をさせていただきました。

6月17日でありますけれども、定例会がやはり開かれまして、引き続いて人事異動の反省あるいはこの後話題になるのだろーと思っておりますけれども、県外視察の打ち合わせ等、さらには今後の協議題の決定などをさせていただきました。

それから、6月10日、小山市教科用図書選定委員会、今年は第9条関係で、開かせていただきました。

学校訪問では、5月25日に計画訪問ということで、市教育委員会で小山中学校へ、6月1日共同訪問ということで市教育委員会、県教育委員会、合わせて乙女小学校へ、15日大谷東小学校を訪問させていただきました。

関連団体でありますけれども、5月20日、小山市PTA連合会の総会がございまして、事務局が間々田東小学校ということになりました。

5月26日、教頭研修会を開催させていただき、学力、体力の向上策について、あるいは児童生徒の安全安心の確保、さらには教職員の健康管理等について指導させていただきました。

運動会です、5月28日、小山第一小学校、小山第三小学校、豊田南小学校、大谷東小学校、城南中学校などを回らせていただきました。

6月4日、城南小学校、旭小学校に参加をしてまいりました。

田植えが1校残ってございまして、5月31日、羽川小学校、今年度からスタートということで、市内8校目になるわけでございますけれども、行ってまいりました。

それから、蛍関係でありますけれども、神山委員にお世話になりました。10日中地区の蛍を見る会、11日ほたるの館まつりに参加してまいりました。ほたるの館まつりでは、小山第三小学校、小山第二中学校の児童生徒が演奏などを披露させていただいたところでございます。

いじめ問題等への対応でございますけれども、先ほどお話がございましたように、5月31日には、いじめゼロ子どもサミットということで、各学校の取り組み状況とこれからの取り組みの方向性について、6月20日、いじめ等防止市民会議、宇都宮大学の佐々木英和先生、小山市のコミュニティースクールの提言書をリードしていただいた先生でございます。相手を尊重するコミュニケーションということでご講話等がございました。

23日ですけれども、校長、教頭、児童生徒指導主事あるいは養護教諭などを含めまして、いじめ問題対策検討委員会を開きまして、各学校のいじめ防止基本方針、これが基本でございますので、これにかかわる確実な実施についてお願いをさせていただいたところでございます。

6月1日、教職員の資質向上ということでナイトカレッジ、千葉大学の天笠先生をお迎えいたしまして、小山市の進めております、小中一貫教育のこれからのあり方についてお話をいただきました。

6月13日、小中学校節電対策委員会を開かせていただきました。教育委員会関係が小山市の電力消費量の40%を占めるということで、やはり教育委員会の節電への意欲、それから取り組み、これが大切であるということで例年開かせていただいているものでございます。小まめな消灯、点灯あるいは待機電力のカットなどについてお話をさせていただきました。

昨日ですけれども、防災教育セミナーということで、富士常葉大学大学院の重川希志依先生をお迎えいたしまして、昨年9月の水害では、小中学校避難所運営をさせていただいたわけですが、その避難所設定から運営のあり方等について、実際に開所から運営までを行い、その後いろいろなお話をいただいたところでございます。

1日さかのぼりますけれども、26日の日曜日には、小山食育推進、それから小学校食育かるとり大会が開かれ、新聞でもご案内がございましたけれども、小山第一小学校優勝、羽川小学校が準優勝ということでございました。

以上、主なものを報告させていただきました。

○福井委員長

続きまして、教育部長からお願いします。

○田口教育部長

私のからは、6月24日閉会しました6月市議会についてご報告させていただきます。

別冊で表がグリーンの表紙です。こちらは一般質問でございます。6月6日から6月9日の4日間一般質問として、6議員の方から11質問をお受けしました。教育委員会の現在実施している事業について、大所高所からのご質問を受け、お答えしたところでございます。

その後、常任委員会で2議案、お手元にこれは配ってないのですが、審議させていただきました。学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例ということで、義務教育学校関係の条例の改正です。それと、議案第59号としまして、「おやま英語教育のまち子ども宣言」についてご審議をいただきまして、24日無事決議をいただいたところでございます。

簡単ではございますが、6月議会の報告ということでよろしく申し上げます。

以上です。

○福井委員長

続きまして、教育総務課長からお願いします。

○添野教育総務課長

それでは、資料の議案書の3ページをごらんいただきたいと思います。教育総務課からは3点でございます。

3ページは寄附受け入れでございまして、中央図書館への本、それから点字の図書等の寄贈がございましたので、報告をさせていただきます。

続きまして、4ページをごらんいただきたいと思います。平成28年度の広島平和記念式典の中学生派遣事業についてです。例年どおり、8月5日から8月7日まで、2泊3日で広島平和記念式典に派遣するものでございます。

5ページの実施要綱をごらんいただきたいと思いますのですが、7月4日に結団式、そして派遣を挟みまして、8月19日に報告会という予定でございます。

今回は、平成26年度から野木町と合同で行っていましたが、結城市が参加することになりました。今年度から小山市のほか結城市と野木町の、3市町で行ってることになっております。

6ページ、7ページをごらんいただきますと、7ページに派遣団員の名簿がございます。大規模校については例年どおり3名ということで、合計28名でございます。男女比は同じ、14名、14名ということでございます。

8ページ、9ページをごらんいただきたいと思います。研修会等についての日程が8ページ、そして現地の行程表が9ページに記載してございます。

続きまして、10ページをごらんいただきたいと思います。10ページは、平成28年度の小山市中学生のケアンズ派遣事業についてでございます。派遣期間については、8月の17日から24日までの7泊8日でございます。こちら大規模校については3名ということで、事前に希望を申し出て、12ページをごらんいただきますと書いてあるのですが、英語のリスニングテスト、それから作文及び面接を実施いたしまして、選考をさせていただきました。

13ページが日程表となっております。14ページが研修会等の日程でございます。

15ページには派遣生徒の名簿が載っております。男子が7名、女子21名ということで、応募者数も女子生徒が多いですが、このような構成となっております。

以上、簡単でございますが、ご報告いたします。よろしくお願いいたします。

○福井委員長

続きまして、学校教育課長からお願いします。

○池澤学校教育課長

資料の16ページをごらんください。学校教育課からは、小山市教育支援委員会への諮問についてということで、5月30日付で教育長から小山市教育支援委員会会長、医師の松岡様に当たり、小山市における特別の支援を要すると思われる就学予定児や児童生徒の就学支援及び教育的措置についてということで諮問をいたしました。諮問の理由につきましてはここに書いてあるとおりであります。

18ページが今後の予定となっております。5月30日が委嘱状交付でありまして、第1回目の教育支援委員15名、そして行政が8名と、それに34名の学校教員が調査員ということで第1回の教育支援委員会が開かれました。今後は、全4回ということで、8月、10月、そして2月に行われる予定になっております。そして、教育支援委員では、やはり面接等も含めまして、最終的には年明けの2月16日、こちらが教育支援委員会の答申ということで予定しております。これが最終日であります。

19ページにはその小山市の教育支援委員会の条例が書いてありますので、ご確認いただければと思います。

20ページは施行規則であります。

私からは以上です。

○福井委員長

続きまして、生涯学習課長からお願いします。

○細井生涯学習課長

21ページでございます。第38回人権講演会の開催についてです。市民の皆様に人権問題を正しく理解していただき、差別意識の解消を図ることを目的に、人権講演会を今年度も開催いたします。

今年は、多くの発展途上国を訪問した紺野美沙子氏を講師に招きまして、貧困や自然災害時の支援に関する経験談をお伺いいたします。そして、世界平和への貢献について考えることを通して、人権意識の高揚を図りたいと存じます。

日時と内容でございますけれども、平成28年8月23日火曜日午後1時半から4時までを予定しております。開会行事の後、ことしは障害者差別解消法の施行年ということで、国分寺特別支援学校、あと社会福祉法人パステルから、大太鼓の演奏やダンスなど舞台発表をしていただく予定でございます。その後、紺野美沙子氏の人権講演会を行いたいと思っております。場所は文化センター大ホールです。

啓発としまして、通常は、昨年度まではなかったのですが、ホールを利用して、人権啓発パネルの展示、いじめゼロ子どもサミット・小山市いじめ等防止市民会議のパネル展示及び紹介、ビデオ上映などを行いたいと思っております。団体による啓発活動、そして人権擁護委員による人権啓発活動を実施してまいります。

以上です。

○福井委員長

続きまして、生涯スポーツ課長からお願いします。

○初澤生涯スポーツ課長

生涯学習スポーツ課からは、2件報告をさせていただきます。

まず、22ページでございますが、今年第10回となります「平成28年度の小山市ラジオ体操会」の開催についてということでご報告させていただきます。いつでも、どこでも、誰でも気軽にできるラジオ体操を通して、豊かな健康づくり、明るく活気あるライフスタイルの実現を目的に、ラジオ体操会を開催するものでございます。

なお、今年は、第10回を記念いたしまして、子供たちの体力向上のために考案いたしました「スポーツ立市おやまっ子体操」の披露というものも予定してございます。

日時でございますが、7月23日土曜日朝6時15分から開会となります。開会后、白鷗大学の加藤澤男教授から、監修いただきました「スポーツ立市おやまっ子体操」をまず披露させていただきます。その後ラジオ体操、講師によるラジオ体操の指導、小山市民元気あっぷ体操を行いまして、閉会となります。

会場につきましては、小山総合公園の森のはらっぱ。なお、雨天時には県南体育館のメインアリーナということで予定してございます。

講師の先生につきましては、昨年と同じ、元NHKテレビ・ラジオ体操指導者の青山敏彦先生、同実技アシスタントの稲垣早織先生を予定してございます。

続きまして、23ページでございます。平成28年度大会結果速報についてでございます。今回は、5月7日から6月7日までの分について記載させていただいてございます。大変時期的に件数も多い内容でございます。

内容的には、県の高校総体、また県の中学校春季大会、関東高校スポーツ大会等の結果について掲載させていただきました。全部で36件報告してあります。なお、3ページ目に参考といたしまして、水泳の萩野公介選手の各種の競技の成績、優勝について載せてございます。件数が多いものですから、内容につきましては、後ほどごらんいただきたいと思いますと思います。

なお、この萩野公介選手に絡みまして、小山市出身リオオリンピック出場選手の応援についてご説明させていただきたいと存じます。別紙で配付しております資料でございます。

小山市出身競泳の萩野公介選手、柔道の海老沼匡選手につきましては、4年前のロンドンオリンピックに引き続きまして、8月に開催されますリオデジャネイロオリンピックに出場することが既に決定してございます。また、サッカーでは、小山市出身の三丸祐選手が最終選考に向けて頑張っています。また、白鷗大学出身の女子バスケットボールの王新朝喜選手については出場が決定、また同じ白鷗大学の7人制男子ラグビーのトゥキリ・ロテ選手も、最終選考前の合宿に参加しているというような状況でございます。

このように小山市ゆかりの若者がリオオリンピックに向けて頑張っているということから、小山市でも応援をしていきたいということで考えているところでございます。

応援体制としましては、小山市長を会長といたしまして、小山出身オリンピック出場選手を応援する会というものを7月26日に開催、設立ということで現在準備中でございます。福井教育委員長にも委員としてご参加いただきたいと思いますと考えてございますが、既に市内で立ち上がってございます萩野公介選手を応援する会、それと海老沼匡選手を応援する会というものが、それぞれ桑地区、生井地区で設立されております。この両方の応援する会と連携して、応援のためのパブリックビューイングを、8月7日から12日の期間にかけて開催していきたいと現在考えてございます。

小山市にゆかりのある若者ということで、それぞれの選手のプロフィールにつきましては、その後に掲載させていただいております。

また、参考に、3枚目には、萩野公介選手、海老沼匡選手の競技日程を載せさせていただきました。基本的にこのスケジュールでパブリックビューイングを開催していきたいと考えているところでございます。地球の裏側ということもございまして、時間が深夜とか、あるいは早朝というようなものもありますが、できるだけ多くの方の参加をいただいて、盛り上げてまいりたいと考えているところでございます。

生涯スポーツ課からは以上でございます。

○福井委員長

続きまして、中央図書館長からお願いします。

○栗原中央図書館長

中央図書館から、26ページをごらんいただきたいと思います。平成28年度「子どもと本をつなぐ講座」の実施についてでございます。「子どもたちに本の楽しさを伝えよう」というテーマで行うものでございます。小山市子ども読書活動推進計画の第2期の基本方針、ボランティアグループの人材育成と活用に基づきまして、外部から講師を招き、子供と本のかかわりについて学び、多くの市民で子供たちを支える読書活動推進の担い手の輪を広げようとするものでございます。

日時につきましては、3回にわたりまして、1回目は7月26日、「子どもの本の魅力につい

て」白鷗大学教育学部教授竹長先生のお話をいただく予定です。

第2回目、8月2日、「お話の楽しさを広げよう～充実した子どもの読書ボランティアをめざして～」、30年来おはなしボランティアとして活躍している、はなしのこべやの2人の方を講師に、お話をさせていただく予定です。

3回目、8月9日、講義と実習、図書館職員による「絵本の選び方と読み聞かせについて～初心者も経験者も基礎を学ぼう～」ということで行うものでございます。

会場は中央図書館の視聴覚ホールです。チラシに詳しく書いてありますので、ごらんいただきたいと存じます。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、博物館長からお願いします。

○森谷博物館長

博物館からお知らせをさせていただきます。28ページをごらんいただきたいと存じます。

件名につきましては、小山市立博物館特別展「昆虫」の開催でございます。お手元にパンフレットをつけさせていただいておりますので、あわせてごらんいただきたいと存じます。

要旨につきましては、今回昆虫にスポットを当ててございます。昆虫は、環境に適用し大繁栄を遂げ、多様性を極めてまいったということでございます。昆虫の持つ特異な能力と生きるための工夫などを紹介いたしまして、昆虫の生き方の巧みさに迫るものでございます。例えば身を守るために毒を出したり、においを出したり、葉っぱのような色になってしまったりなどでございます。こういうものを説明させていただきたいと思えます。

期間につきましては記載のとおり、時間についても9時から5時まで、入場料は無料でございます。

展示の資料といたしましては、日本を初めといたします標本数は1,555体でございます。

それと、パンフレットの裏側に昆虫写真展、写真については、注釈でつけさせていただきましたけれども、人間の大きさと同じぐらいの写真に拡大できるという機械を借りてきて、これを使い皆様に説明するというものでございます。

そのほかに巨大な昆虫モニュメントということで、1辺が2メートル掛ける2メートルのモニュメントを那須野が原博物館よりお借りして、展示をしております。

関連事業といたしましては、1番から4番の事業を実施いたします。

以上、よろしく願いいたします。

○福井委員長

続きまして、車屋美術館長からお願いいたします。

○鈴木車屋美術館副館長

29ページになります。第36回企画展、「生誕100年 木村辰彦展」の開催についてでございます。

今回の展示につきましては、7月2日土曜日から9月4日日曜日までの間、洋画家、木村辰彦の作品を展示いたします。点数といたしましては約50点ございまして、その50点の内訳は、市内中久喜在住のコレクターの方、それから木村辰彦のご遺族からお借りすることになっております。

関連事業としまして、7月2日初日になりますけれども、午後14時からオープニングセレモニーとギャラリートークを予定しております。そのほか記念講座、座談会、「絵をコレクションしたい人のための初級講座」、夏休みお楽しみワークショップ、学芸員によるギャラリートークを予定しております。

以上です。

○福井委員長

報告事項につきましては、以上でございます。

これらについてのご質問、ご意見をお伺いしたいと思います。

その前に、私、報告事項で忘れてしまったのですけれども、6月26日にスポーツ都市宣言記念モニュメントの除幕式に出席しまして、今生涯スポーツ課長からも詳しく説明していただきたいのですが、海老沼選手と萩野選手の小さな銅像をモニュメントとして飾ってあるということで、ぜひ皆さんも県南体育館へ行ったときにはごらんになっていただきたいと思います。

さきほどの報告事項の中でもありました。スポーツ立市おやまっ子体操もそのときに披露してくれまして。とても大人ができるような体操ではないのですけれども、子供はよくこなしていきまして、すばらしいなと思いましたけれども、課長からちょっと追加で報告をお願いします。

○初澤生涯スポーツ課長

まず、スポーツ立市記念モニュメントにつきましては、一昨年、2年前の平成26年6月26日に、小山市はスポーツ都市宣言を行っているわけですが、そのスポーツ都市宣言から2年目ということを記念いたしまして、先ほど委員長からお話がありました、萩野公介選手と海老沼匡選手をモデルにした銅像を県南体育館正面玄関の西側に設置いたしまして、26日に除幕式を行ったというものでございます。

台座の上に50センチぐらいのお二人をモデルにしたブロンズ像が据え付けてあり、全体では高さが1メートル80センチぐらいになります。萩野選手は飛び込み台から飛び込むようにしているところ、海老沼匡選手をモデルにした銅像は、大外刈りですか、わざをかけようとしているところの、2体のブロンズ像でございます。

関係者の皆様方にご列席いただきまして、羽川西小学校、下生井小学校の児童の皆さん方にも列席していただいて、除幕式を行ったということでございます。

それに引き続きまして、スポーツ立市おやまっ子体操を、小山広報大使となりました小山だいすキッズというお子さんのダンスチームの方々に、おやまっ子体操を覚えていただきましてご披露いただきました。

この体操は白鷗大学の加藤澤男教授に監修をいただいた体操でございまして、子供たちが楽しみながら体を動かせるようにということで、いろいろ動きを取り入れた体操となっております。約5分の体操なのですが、委員長が申されましたように、大人がやるにはかなり激しくて、かなり忙しいといえますか、大人が5分以上一緒にやると、息が切れるというような体操です。最初はゆっくりとできるようにということで、練習用3つのテンポを作成し、この後ダンスの様子をDVDにおさめ、そのDVDを各小中学校に配付いたしまして、普及に努めていきたいと考えております。

以上であります。

○福井委員長

ありがとうございます。

それでは、ご質問、ご意見などをお伺いいたします。よろしくお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

私から、この寄附受け入れ報告の中に点字図書というのがあります。これは、小山点友会からの寄附48冊ということでありますけれども、これは寄附という形も珍しいですが、図書館には点字図書というのはどのぐらいあって、毎年こういう活動をなさっているのかというのを、今館長がいるので、聞いてみたいのですけれども、その辺はどうですか。

館長のから。

○栗原中央図書館長

毎年度当初に小山点友会から点字図書をご寄贈いただいています。最新情報が手元にならないものですから、お答えできないのですが、点字図書につきましては、宅配サービスであるいは来館して点字図書を見る方も若干ですが、いらっしゃいます。現在3,000冊以上にはなったかと思います。

○福井委員長

これは、本当にボランティアでやっていらっしゃるのですか。

○栗原中央図書館長

そうです。小山点友会の方たちが希望を聞きまして、その本を一つ一つ点字で、今はパソコンで入力になるのですが、点字資料をつくってくださっています。

○福井委員長

ありがたいですね。

○栗原中央図書館長

はい。

○福井委員長

ありがとうございます。

○田口教育部長

点字のコーナーがあるのですか。

○栗原中央図書館長

点字図書につきましては、今配架には出していないのですが、書庫に置いてあります。

○田口教育部長

今日の読売新聞かに、足利の図書館で点字の本のコーナーをつくるという記事が載っていきまして、県内では宇都宮、小山に次いで3カ所目ということで。

○栗原中央図書館長

途中から目が不自由になった方については、点字は読めない方もいらっしゃるのですが、どちらかといいますと録音資料で提供するほうが今は多いというのが現状です。

○福井委員長

2種類あるのですね。録音資料と点字資料と。

○栗原中央図書館長

そうです。録音資料と点字資料をご用意しております。そのほかに弱視の方につきまし

ては、字のポイントが大きい大活字本というものも用意しております。3種類図書館では現在蔵書として受け入れております。

○福井委員長

あれは、弱視ということよりも高齢者向けというのもなかったですか。

○栗原中央図書館長

若干あります。

○福井委員長

ありましたよね。

○栗原中央図書館長

はい。一つの字のポイント数がラージプリントということで非常に大きいのですが、それでも、そちらの本の希望もありました。ただし1冊の小説が、大活字本ですと大体2・3冊になってしまう。それから、点字図書ですと5冊ぐらいになってしまうような状況で、1冊、1冊は高価なものとなっております。

○福井委員長

ありがとうございます。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

神山委員どうぞ。

○神山委員

広島派遣ですが、今回から結城市が入って3市町で行くわけですが、行動は一緒にされるのですか、それとも別々で。この計画表でいくと、これは小山市だけの研修会かなと思うのだけでも、結城市と野木町は一緒に研修しなくても大丈夫なのかなと心配したのです。

○福井委員長

教育総務課長。

○添野教育総務課長

こちらの事業の所管課は行政経営課、市長部局なのですが、私から。

まず、こちらの行動は全て一緒でございます。研修も全て一緒と聞いております。それから、宿泊先も同じということで、野木町は中学校が2校でございまして、生徒は4名、結城市は中学校が3校でございまして、生徒は6名。ただ、市長、町長、それから団長、引率等を入れますとそれぞれ、野木町が総勢9名、結城市が11名ということで20名プラスされます。そのような事業だということです。

○福井委員長

この件に関しては、私からも、この間、教育委員長として、定住自立圏構想の調査会があつて、それに参加いたしました。その中で、教育分野だと例えば図書館の共同利用、これはもう実際やっていますよね。それから、学校のこういう交流とかも含めて、これからだんだん拡大できるものはしていこうと。

定住自立圏構想というのは、これは教育委員会とは違うのですが、小山市を中心とした下野市、結城市、それから野木町、この地区の魅力を高めて、将来少子化、だんだん人口が減っていつてしまう可能性があるものですから、地域を挙げてその地域の魅力を

発信しようと。発信すると同時に、そういうものを利用しながら、お互いにメリットを生かしていこうという発想であります。私は教育委員長という立場で、教育委員会のいろんな意見をその会議で述べるという形になっております。

これも、その一環ではないのですけれども、共通してできることは、これからも出てくるのではないかなと思います。

私が、第1回目の会議に参加いたしましたので、報告というか、お知らせしておきます。そのほかいかがでしょうか。

福地委員どうぞ。

○福地委員

6月20日にいじめ防止委員会の研修会があつて、委員長もいらっしゃいましたけれども、オブザーバーとして参加させていただきました。宇都宮大学の教授で、とてもお話も上手で、眠くならない講習でとてもよかったのですが、受ける方の人数が20人位でしたでしょう。

〔「そうですね」と呼ぶ者あり〕

○福地委員

この話は、大人数で聞いたらよかったかなと思いました。

○福井委員長

生涯学習課長。

○細井生涯学習課長

青少年の活動とか教育活動をしてくださっている団体から、20人前後という形で選出しております。

以上です。

○福井委員長

私が会場にいる知り合いの人に聞いたら、今日の講師の話は論理的な話と実践的な話と、両方組み合わせてくれたので、聞いている方も、わかりやすかったという話をしていました。

ほかにいかがでしょうか。

新井委員どうぞ。

○新井委員

広島記念式典で原爆の子の像への千羽鶴奉納とは、この前オバマ大統領も奉納したと思ったのですけれども、これに合わせて、各学校がみんなでつくっているのでしょうか。

○福井委員長

千羽鶴を。

○新井委員

千羽鶴を。

○福井委員長

学校教育課長。

○池澤学校教育課長

各生徒会を中心にしまして、代表ではなくて、一人一人全校生徒が思いを込めて千羽鶴を折ります。それを各クラス持ち寄って、1つのまとまった形にすると。それを、代表生

徒が、各学校におりますので、持参しまして、式典のときに捧げるという、そういうスタイルをとっております。

○福井委員長

そのほかいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

私から。内容的におもしろいなと思ったのは、博物館の昆虫の特別展で、28ページの一番下に書いてある「講談で聴く「ファール昆虫記」」というのが、これは講談師がやるということなのですね。なかなかおもしろい企画だと思うのですが、これはどんな内容なのですか。

○森谷博物館長

この方は、神田真紅という方なのですが、水戸市出身の東京女子大学を出た方で歴女だということです。歴史に詳しいというのがありますし、昆虫にも詳しいのです。講談で昆虫を皆さんにご説明して、興味を抱いていただけるようなことで話を進めるということです。

○福井委員長

これは、ちなみに大人向けというか、大人が聞いてもおもしろい。

○森谷博物館長

大人もおもしろいと聞いております。

〔「ぜひ行きましょう」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

おもしろい企画。

そのほかいかがでしょうか。

福地委員どうぞ。

○福地委員

この前、間々田東小学校を訪ねましたら、この昆虫の標本を持って出前授業をなさっているのですね。うれしいことだと思います。

○福井委員長

博物館長どうぞ。

○森谷博物館長

博物館には学校からの出向の教員、理科の先生と歴史・社会の先生が、2人来ていらっしゃいます。各学校への出前講座とか博物館での体験学習、そのほかに、勾玉をつくろうとか縄文土器をつくろうということで、博物館に来て実際にやっていただく。また、火おこし体験等もやっています。

以上です。

○福井委員長

そのほかはありますか。

新井委員どうぞ。

○新井委員

28ページの「昆虫」のことで、展示資料のところで、人間と等身大の昆虫写真というの

は、昆虫を人間の大きさに拡大したものなのですね。

〔「はい、そうです」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

博物館長どうぞ。

○森谷博物館長

パンフレットの裏面をごらんいただきたいと思います。中段のところに、超高解像度人間大昆虫写真というのがあります。これは橋本さんという方がお持ちになっているのですが、これを借りてきて、例えばカブトムシをスキャンして、それを機械にかけますと、人間の大きさ、1メートル五、六十センチぐらいの大きさになりまして、触覚、角、色とかがはっきりとわかる。それで皆さんに興味を持っていただくというものです。

○福井委員長

私から。

車屋美術館の件で29ページです。木村辰彦さん、このパンフレットを見ても非常にいい絵を描いている人で、これは先ほど聞いたら、小山市在住の方にコレクターがいたり、木村さんのご家族の所有のものをという形でありました。これは、小山市の車屋美術館独自の企画でやるという形で解釈していいですか。なかなかいい人を発掘したなと思って。

車屋美術館長。

○鈴木車屋美術館副館長

そのとおりでございます。市内中久喜に在住していらっしゃいますツジイさんという方がコレクターで、かなりの点数を持っているということと、木村辰彦氏のご家族が、現在東京に住まわれていまして、小林さんとおっしゃるのですが、その方が持っているものをあわせて展示をするということで、こちらのパンフレットの表紙を飾っている絵が、現在の東京のご家族の方になります。オープニングの日には両名ともいらっしゃる予定になっていますので、ぜひお越しいただけたらと思います。

○福井委員長

ほかにございませんか。

結城委員どうぞ。

○結城委員

11ページのケアンズの派遣事業についてですけれども、なかなか大勢の中学生が行けないので、そういう希望をしても当然行けない生徒がいると思うのです。例えばなのですけれども、そういう子にも次の機会という形で、小山市内であれば、思川温泉のログハウスなどを利用して、夏休みに1泊2日のイングリッシュキャンプみたいな形のものを、もっと低コストで、参加者の負担が少ないような形かつ大勢の希望する子供たちの期待に応えられるような機会をふやすことができたらいいなと思うのですけれども、いかがなものでしょうか。

〔「難しいな」と呼ぶ者あり〕

○結城委員

すぐ難しいと言われてしまいます。

○福井委員長

教育総務課長。

○添野教育総務課長

これも教育総務課でご報告しているわけなのですが、市民生活課が所管の事業でございます、予算も全部向こうで持っております。ただ、中学生が参加ということなので、教育委員会もいろいろかかわってくるということでございますが、国際交流は、市民生活課ですので、それにプラスアルファということになると、池澤課長からお話をいただければと思います。

○福井委員長

学校教育課長。

○池澤学校教育課長

では、追加で説明させていただきます。

今回ご案内のとおり、おやま英語教育のまちということで、議会最終日に子ども宣言も採択されました。これを主管しているのが市民生活課になりますが、そこと連携してエンジョイイングリッシュという事業名で、小学生は区分を幾つかに分けて、中学生以上になると大人対象として、英語でALTやCIRの人たちと英語を通じて、英語講座を楽しむということを行っています。またはクリケット、こちらはイギリス発祥ということで、佐野市にその会長をやられている方がいらっしゃるという関係から進めている。5か年計画のもとで、事業の見直しをして、今年からリニューアルということでスタートしました。

委員の今の発案ですけれども、今後この事業を発展させていく意味で検討を加えていきたいと思います。

以上です。

○福井委員長

そのほかいかがでしょう。

神山委員どうぞ。

○神山委員

ケアンズ派遣なのですけれども、ケアンズに中学生を派遣する趣旨というのが、意外とはっきりしなくなってしまうのではないかなと思うのです。語学研修のために中学生を派遣するのか、それとも派遣される中学生は親善大使なのか、どちらかだと思うのです。語学研修で派遣するのだったら、希望者はみんな行かせてしまえばいい。短期間ですから、そんなに語学研修にはならないと思うのだけれども。ケアンズと小山市の親善大使として派遣するのだったら、それなりの、中学生として人格のすぐれた者を選抜して送り込む。それから、向こうから派遣されてきた人も受け入れるという姿勢をとったほうがいいのではないかなと思うのです。何のために派遣するかという趣旨をはっきりさせておかないと、何となく去年もやったから今年もやるという、流れに流されていってしまうような気がするのですが、いかがなものでしょうか。

○福井委員長

教育総務課長。

○添野教育総務課長

これも先ほど申し上げましたように、市民生活課の所管事業ということなのですが、11ページにこの事業の目的が記載されているわけなのですが、ホームステイ、それから現地の学校訪問などの体験学習を通して、広い視野と豊かな国際性を育むのだと。国際人として

必要な基礎的な能力や態度を培う。それから、今度行ってきた生徒は、秋に中学校の学校祭、文化祭という催しがあるのですが、そのときに、その行ってきた生徒が、こういうことで行ってきましたよと、学校の代表ということでもありますので、ほかの生徒たちに、国際交流、そして現地のあるいはホームステイの様子などを発表して、姉妹都市ケアンズの理解を深めると。そして、国際理解への興味とか関心を高めるという、たくさん目的があります。委員さんの今、目的がぼやけてしまうというところもなきにしもあらずかとは思いますが。そういうことで実施しております。どうぞよろしくお願いいたします。

○福井委員長

あとは、教育委員会単独では、このケアンズステートハイスクールとの交流の、あれは盟約とは言わないのかな。

〔「盟約書です」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

盟約書は交わしていますよね。私達も第1回目のときに福地委員と参加したことがあるのですけれども、実際に現地に行って、学校の校長先生とか担当の先生に会い、いろんな話し合いをして、お互いに交流しましょうということでやっていく。子供は本当に毎年違った子が行くので、子供自身にとっては新鮮な気持ちで行くのでしょう。当然引率の先生方も、意識してやっていらっしゃるのだと思いますけれども。

池澤先生は引率したことは。

○池澤学校教育課長

教育長が小山第三中学校時代のときに。

○福井委員長

あるよね。

○池澤学校教育課長

はい。行かせてもらいました。

○福井委員長

どうですか、感想としては。

○池澤学校教育課長

先ほどの質問にも多少触れたいと思うのですけれども、ちょうど私、盟約書の改定ですか、見直しのときだったのです。子供たちはまず、英語であったり国際理解などに興味のある生徒が当然手を挙げます。先ほど教育総務課から話がありましたが、10月の末に、各学校で自分の体験したことを発表することによって、一人の個人の財産というだけではなくて、広く小山市全体に伝わるというシステム。それは、先ほどの広島もそうですし、また最近始まった紹興市への派遣も、三点セットのような感じで今はやっています。

そして、その後、派遣された中学3年生が、3年後、5年後と跡を追ってみると、大学進学とか20歳を過ぎたころの自分の進路、その後に、この体験というのは非常に強烈のようで、自分のその後の進路選択にもかなり影響を与えているというケースを、たくさん報告または実際に成長した姿を見ております。

個人だけではなく、小山市全体の国際理解の推進役にもなっているのかなと。やがて大人になって、市民となって、活躍してくれることをこの事業を通して期待したいなと思っています。

以上です。

○福井委員長

報告事項につきまして、ほかにいかがでしょうか。

福地委員どうぞ。

○福地委員

今のケアンズ派遣事業についてですが、今は派遣ですが、受け入れは毎年はなさっていないわけですね。

○福井委員長

教育長どうぞ。

○酒井教育長

受け入れ方が2つありまして、毎年こちらは冬の時期でありますけれども、ケアンズステートハイスクールから1名、それから豪日国際交流協会から1名、2名受け入れをさせていただいています。これについては、あちらで選んでくるのですけれども、やはり日本の文化であるとか、あるいは日本の風土であるとか、向こうは雪が降りませんので、そんなものを見たいとか、いろいろな目標を持ってくるのですけれども、非常に優秀なお子さんが来ております。

震災のころ一時中断をしていたのですけれども、ケアンズステートハイスクールのお子さんが東北などに行かれて、その後小山市に寄って、10人、20人単位でホームステイをしていくというものもあるわけでございまして、先ほど神山委員からも出ていましたけれども、そのとき知り合いになったお子さんのところへ、こちらから行ってホームステイをさせていただくとか、逆にこちらが行ったときに、向こうからの生徒さんを知り合いのうちにホームステイさせていただくとか、こういった交流も進めておりますので、回を追うごとに小山とケアンズのきずなというのは深くなっているのだろうなというのを思っております。

それをサポートしているのがC I Rということで。

〔「コーディネーターみたいな……」と呼ぶ者あり〕

○酒井教育長

A L Tと、それから市民生活に在籍をさせていただいておりますので、国際交流の役割も果たしてくれているということでもありますし、また池澤課長からも話がありましたように、これを経験してきたお子さんたちで小山市の青年国際交流大使ということでチームをつくっております、毎年2月、国際交流協会のインターナショナルフェスティバルがあるので、こういったところに顔を出していただいて、その事業を推進するとか、チャンスがあるときに活躍をしてくれているチームも編成されているということで、今後また、この事業につきましては多目的でございますので、推進していくことが必要ではないかと考えております。

○福井委員長

ほかにいかがですか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

なければ、報告事項については、了承したという形で、承認したという形でよろしいでし

ようか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、報告事項は以上でございます。

〔「委員長済みません」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

どうぞ、教育部長。

○田口教育部長

3時半から別な会議がございまして、私は適当な時間に若干抜けさせていただきますので、済みませんが、よろしくお願いいたします。

○福井委員長

わかりました。

それでは、審議事項に入ります。

議案第1号 小山市小中一貫校推進委員会委員の委嘱ということで、これについての説明をお願いいたします。

教育総務課長。

○添野教育総務課長

それでは、議案書の30ページ、31ページをごらんいただきたいと思います。議案第1号 小山市小中一貫校推進委員会委員の委嘱についてということで、こちらは一貫校の推進委員会の設置要綱を第4条に基づき委嘱するものでございます。委嘱期間は、7月1日から業務完了まで。

今回参考資料ということで、32ページ、33ページにあります。豊田中学区及び乙女中学区の推進委員会の委員の委嘱でございます。もう一つ絹中学区もございますが、こちらについては4月の定例教育委員会でご審議いただきまして、委員の委嘱をするということでご了解を得ております。

それでは、32ページをごらんいただきたいと思います。32ページが豊田中学区の推進委員会の名簿案でございます。網かけになっている1番、5番、7番、13番、15番の5名の方を新たに委員としてご推薦させていただくものでございます。乙女中学区については、1番、3番、4番、6番、11番から14番、17番ということで、9名の委員を新たに委嘱しようというものでございます。

こちらについては、特に自治会連合会の自治会長は、1年で交代するという場合もございます。また、学校の学校評議員や、校長先生も定期異動ということで異動が発生します。PTAの役員についても同じことございまして、どうしても変更が出てくるものですから、以上のように推進委員の委嘱を変更したいと思いますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

○福井委員長

議案第1号の説明は以上の説明であります。

これについての審議をお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

今説明がありましたように、各団体の役員交代とか校長先生の異動によって、新任という形で出てきておりますけれども、特別異議なければ原案どおり決定したいと思います、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第1号につきましては原案どおり決定いたします。

続きまして、議案第2号に入ります。小山市社会教育委員（補欠委員）の委嘱についてということであります。

これについての説明をお願いいたします。

生涯学習課長。

○細井生涯学習課長

生涯学習課でございます。36ページ、37ページをごらんください。

小山市社会教育委員（補欠委員）の委嘱について。小山市校長会と小山市内高等学校校長会から推薦されておりました委員に変更があったため、補欠委員の委嘱をするものです。

前任者の残任期間としまして平成28年4月1日から平成29年3月31日まで、委嘱者の氏名、役職等でございますが、飯嶋治、大谷中学校長、増渕正典、小山南高等学校長の2名の方でございます。

38ページに名簿を添付いたしました。39ページ、40ページにつきましては、社会教育法等の法規集でございますので、よろしくをお願いいたします。

以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。

○福井委員長

議案第2号の説明は以上の説明であります。

これについての審議をお願いします。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

これにつきましても異動に伴う委嘱という形で、新任の方2人おりますけれども、原案に異議なければ決定したいと思います、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第2号につきましても原案どおり決定いたします。

続きまして、議案第3号に入ります。第13期小山市生涯学習推進協議会委員（補欠委員）の委嘱についてということであります。

これについての説明をお願いいたします。

生涯学習課長。

○細井生涯学習課長

引き続き生涯学習課でございます。41ページ、42ページ、43ページ、よろしくお願いいたします。

42ページをお開きください。第13期小山市生涯学習推進協議会委員（補欠委員）の委嘱についてです。これも先ほどと同様に、校長会、PTA連合会から推薦されていた委員に変更があったために、新たにお二人の委嘱をするものです。前任者の残任期間としまして

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで、青木清治、美田中学校長、町田由実、PTA連合会専門委員のお二人でございます。

ご審議よろしくお願いいたします。43ページが名簿で、その後ろに条例を添付いたしました。

以上でございます。

○福井委員長

それでは、議案第3号の説明は以上の説明であります。

これについての審議をお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

これにつきましても関係団体の異動という形で発生しておりますので、原案どおりに決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第3号につきましても原案どおり決定いたします。

続きまして、議案第4号に入ります。小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会の委嘱ということであります。

これについての説明をお願いいたします。

生涯学習課長。

○細井生涯学習課長

生涯学習課です。45ページ、46ページです。46ページをお開きください。

小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会の委嘱について。平成24年に設置しました、小山市国史跡琵琶塚古墳、摩利支天塚古墳整備委員会の委員の任期満了に伴いまして、設置要綱第3条第2項の規定に基づき委員を委嘱するものです。委嘱期間、平成28年7月1日から平成30年6月30日までの2年間。委嘱者の氏名、役職等は、47ページの名簿のとおりでございます。47ページに網かけになっていらっしゃいます6番、10番、12番の3名の方が新任の委員として候補に挙がっております。

その後ろに、48ページ、49ページに設置要綱を添付いたしました。

ご審議どうぞよろしくお願いいたします。

○福井委員長

議案第4号の説明は以上の説明でございます。

これについての審議をお願いいたします。

神山委員どうぞ。

○神山委員

異議申し立てではないのですけれども、こういうふうに7月1日から6月30日までという任期の決め方という、こういう決め方は好きですね。充て職で来ている人は、各団体の総会というのは大体5月に終わるのです。だから、総会が終わって代表者がかわったときに、7月1日から任期を決めるというのはとてもいいと思います。4月1日だと中途半端になってしまうのです。7月だと一斉にそろって1年間活動できますから、こういう任期のとり方というのは好きです。

○福井委員長

それでは、議案第4号につきまして、特別異議がなければ原案どおり決定したいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第4号につきましても原案どおり決定いたします。

続きまして、議案第5号に入ります。小山市立図書館協議会委員の委嘱ということであります。

これについての説明をお願いいたします。

中央図書館長。

○栗原中央図書館長

それでは、51ページをごらんいただきたいと思います。小山市立図書館協議会委員の委嘱についてでございます。

小山市立図書館協議会委員の任期満了に伴いまして、小山市立図書館設置条例第4条の規定に基づき、委員を委嘱するものでございます。委嘱期間につきましては、平成28年4月1日から平成30年の3月31日までの2年間でございます。ただし、再任は妨げないものでございます。

52ページの名簿をごらんいただきたいと思います。1番から10番、網かけになっている方1番、上野直哲様、4番、澤木純様、6番、鈴木清子様、7番、青柳美弥子様、8番、小林正夫様、10番、酒入陽子様でございます。

以上、ご審議をよろしくをお願いいたします。

○福井委員長

議案第5号の説明は以上の説明であります。

これについての審議をお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

これも直接図書館にかかわっている方、それから組織の変更、異動で校長先生、PTA役員はかわっているという形でありますけれども、原案に異議がなければ原案どおり決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第5号につきましては原案どおり決定いたします。

本日の審議事項は以上でございます。

それでは、次回の教育委員会の日程についてお願いいたします。

○添野教育総務課長

今回の委員会の日程でございますが、7月は同じく28日の木曜日14時から、場所は間々田のしらさぎ館でございます。こちらにつきましては、この定例教育委員会の中で、平成29年度の教科用図書の選定の案件が入ります。傍聴者も想定をいたしまして会場を設定させていただきました。間々田のしらさぎ館ということで、場所がこちらではないものですから、よろしくお願いいたします。

○福井委員長

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして6月の定例教育委員会を閉会といたします。

長時間にわたりありがとうございました。

—————閉 会 午後 4 時 3 0 分—————